

QRコードを読み取って
頂くと病院のLINE から
毎月のお知らせやトリミング情報
診察状況や獣医のお休み等々
配信されます！



ズレイクタイム通信

長町南動物病院特別情報誌 2018年 9月号 NO.28

フォトコンテスト投票期間中です！

★9月のお知らせ★

♡=トリマー2名体制の日！予約なしでも足回りセットご対応します

★猫ちゃんドッグキャンペーン★

期間：9月15日～12月15日まで

<Sコース> 血液検査15項目+SDMA

<Mコース> Sコース+腹部レントゲンと超音波+尿・便検査

<Lコース> Sコース+胸部レントゲンと超音波+尿・便検査

<LLコース> Sコース+腹部・胸部のレントゲンと超音波
+尿・便検査

※注意事項※

☆Sコースは予約なしで受付可能です！

☆M～LLコースは要予約となります。

(午前中に預かり、午後の診察時間中にお迎えとなります)

☆ペット保険は対象外です。全て自費になります。

日	月	火	水	木	金	土
						9/1 ♡
9/2	9/3	9/4 ♡	9/5	9/6 ♡	9/7	9/8 ♡
9/9	9/10	9/11 ♡	9/12	9/13 ♡	9/14	9/15
9/16	9/17	9/18 ♡	9/19	9/20	9/21	9/22 ♡
9/23	9/24	9/25 ♡	9/26	9/27 ♡	9/28	9/29 ♡
9/30	10/1	10/2 ♡	10/3	10/4 ♡	10/5	10/6 ♡

猫の肥満



こんにちは！今回佐藤(睦)からは猫さんの肥満についてお話させていただきます。チュールやパウチを喜んで食べている姿はとってもかわいいですし、もっととアピールされてしまうとつい多くあげてしまう事もあると思います。ただ、沢山あげることが続いてしまうと気づいた時にはまん丸と太ってしまっていることも……。厳密に、標準体型から外れてはいけない…というわけではありません。過度に太ってしまった場合に、**関節、椎間板、心臓、呼吸器、腎臓や腸など…**つまりは**体全体へ負担をかけてしまうということが問題**なのです。骨折や、糖尿病などの原因にもなります1度増えてしまった体重を減らす時には、時間をかけてゆっくりしないといけないので、飼主さんも猫さんにとっても大変です。**「ボディ・コンディション・スコア (BCS) 」**というものはご存じですか？猫さんの種類やそれぞれによって標準体重は変わるため、猫さんたちは具体的に何キロまで標準で、何キロから太ってる…と言うことは難しいのです。そこで、このBCSで**おうちで簡単に体型の管理をしましょう！BCSは、触ったり目で見て確認する体型の基準で、5段階で評価**します。詳しいBCSの基準が気になった方はぜひインターネットで検索してみてください♡それから、**待合の本棚の所に見本を置いています**皆はどのあたりなのか、実際に触って確かめてみてくださいね！また、**BCSが高いかも…**という方は、年に**一回の健康診断が秋にありますので、そちらで全身の様子を確認することもできます。**体型が気になるようでしたらぜひ相談してください♪ダイエットについての相談もお待ちしています(^-^)



膵炎について

今回宮林から猫の膵炎に関してのお話をさせていただきます。膵臓は膵液という、食べ物の消化を助ける消化酵素を腸へ分泌しています。その消化酵素が、何らかの原因で膵臓内で活性化されてしまい、膵臓がダメージを負ってしまい、炎症を引き起こすのが膵炎です。

嘔吐や腹痛、下痢がみられ、激痛を伴う**重度の急性膵炎から、はっきりした症状を示さない慢性膵炎まで様々**あります。特に**高齢のネコちゃんでは慢性膵炎が起こりやすいことが知られています。**そんな厄介な膵炎には、特効薬はありません。主に症状の軽減を目的とした治療が行われます。症状が軽度であれば、完治することは可能です。予防としては日頃から肥満や偏食にならないような注意が必要です。9月からの猫ちゃんドッグキャンペーンの画像検査(レントゲン検査、超音波検査)を利用して頂いたりしながら、定期的な健康診断を受けましょう。

骨折について

こんにちは看護師の花輪です。
今回は骨折について
お話させていただきます。



○**骨折の原因**となるのは以下の通りです。高い所からの落下・交通事故・ドアや窓に挟まれる**栄養が偏っており、栄養不足になっている・骨がもろくなっている、過度の運動、肥満、骨の腫瘍等**があげられます。その子によって原因は様々。来院される患者様は高いところからの落下、ドアや窓に挟まれるなどが多いです。

○**骨折の症状**についてです。足を引きずって歩く・食欲が落ちる・部屋の隅に隠れるようになる・高い所からジャンプをしなくなる・トイレをする時に尻尾やお尻、足を汚すようになる・触ろうとすると嫌がる・腫れている箇所がある、等が挙げられます。飼い主様に心配されないように、本人が痛みを我慢したり普通に振る舞うことがあります。いつもと違うかも…と思ったら「そのうち良くなるでしょう」と、様子を見るのではなく、**全身をさわって確認してあげましょう!!**そのまま放置してしまうと、骨の変形や歩行が難しくなる、関節の痛みが出る事があります。

○**これらを予防**するには…部屋の整理整頓・床で滑って転ばないように、滑り止めになるマットを敷いてあげる・肉球からはみ出してる毛を、カットしてあげる・足回りの毛を短くする・高いところから飛び降りさせないようにする・段差を少なくする・遊ばせすぎに注意する・猫さんの場合は誤って転落しても、上手に着地できる様な環境を作ってあげる。飼い主様が留守中のことも、考える必要があります。動物さん達は自分で予防することが出来ません!! 飼い主様の助けが必要です。1度危険なものはないか見直し、生活環境を整えてあげましょう。

トイレトレーニング②

前回のワンちゃんに引き続き今度は猫ちゃんのトイレトレーニングを山田がご紹介します!

Point①ねこ物は砂や土の上で排泄をする習性があります。猫砂を用意してあげるとスムーズでしょう

Point ②砂をかく動作はトイレのサインなので、トイレに連れて行ってあげてください。繰り返すうちに自然とトイレを覚えます。覚えるまでは排泄物のおいについた砂を新しいトイレへ置いておくとなねこ物にとって分かりやすいかもしれません。

Point ③トイレのおく場所に注意! **落ち着いてできるように、部屋の隅や陰になるようにトイレを配置してあげてください。**テレビの横、一通りの多いところは落ち着けません

Point④『トイレ』にも気配りを! 大きさなるべく大きいものを用意。ねこ物の身体の**1.5倍の大きさ**がベストです。砂の上で好みの場所を見つけるのでうろうろできる広さがあると良いでしょう。また**屋根付きのトイレも販売されていますが、あたり臭いがこもってしまうものはねこ物は嫌かもしれません。**先生宅のねこ物のトイレは大きめの衣装ケースの蓋なしを使用しています。その子に合ったトイレを手作りしてあげるのもおすすめです。

<多頭飼いの場合>用意するトイレの数は『頭数+1コ』ねこ物はこだわりを強く持つ動物さんなので、他のねこ物の匂いが残るトイレは好みません。また、猫砂の種類やトイレの形を変えると排泄しなくなってしまう子もいるので注意が必要です。**そういった原因を改善し、ストレスや不安を解消することでトイレトラブルを防ぐことができます** わんちゃんもねこ物もそれぞれの習性があるので、理解してあげることが習得への近道かもしれません。



長町南動物病院

編集は
看護師の
松崎でした

